

まちの話題



健やかな成長を願って

こいのぼり掲揚式

こいのぼり掲揚式が、4月20日、志佐町の子育て支援施設「URACCO」で行われました。

この日は、約20人が参加し、市長と子どもたちでロープを引いて、大きなこいのぼりを掲げ、こいのぼりが、風を受けて元気に泳ぐ姿をみせると、参加者から拍手と歓声が起きました。

掲揚後には、子どもたちの健やかな成長を願って、全員で童謡「こいのぼり」を歌いました。

最後に、子どもたち一人ひとりに小さなこいのぼりがプレゼントされました。



大きくなって戻ってきてね

志佐川で稚アユを放流

稚アユの放流が4月20日、志佐川で行われました。稚アユの放流は、子どもたちの体験学習を兼ねた志佐川の水産資源維持活動の一つとして毎年実施されており、31回目となる今年も、体長5～8センチほどの稚アユ約5万尾が放流されました。

この日は、上志佐小学校2年生～4年生の14人と上志佐保育園年中・年長組の16人が参加。子どもたちは、バケツに入れてもらった稚アユに「大きくなってね」と声をかけて川に放ち、笑顔で見送りました。



競技力向上と地域とのふれあい

松浦市なぎなたふれあい交流事業「青島錬成会」

今年で3回目となる松浦市なぎなたふれあい交流事業「青島錬成会」が、5月3日から5日まで、青島小・中学校体育館で開催されました。

松浦高等学校をはじめ、山梨県の甲府昭和高等学校、島根県なぎなた連盟、島根県の出雲北陵高等学校、大分県の別府大学、佐賀県の西九州大学、佐賀県の牛津高等学校、沖縄県の首里高等学校からチーム・選手など45人が参加しました。

市内外の選手たちの交流は、お互い大きな刺激となり、地域の人たちとも親睦を深めることができました。



市民と行政の橋渡し役として

市政嘱託員および農業嘱託員委嘱状交付式

平成30年度松浦市市政嘱託員および農業嘱託員委嘱状交付式が、4月25日、文化会館で開催されました。

式では、友田市長が市政嘱託員147人と農業嘱託員91人の各代表に委嘱状を交付しました。嘱託員を代表して向井勝正（志佐・元町、75）さんが「松浦市の発展のために、市民と行政の橋渡し役として努力します」とあいさつしました。また、金井誠治さん（志佐・潮見団地）、嶋川繁さん（今福・東新町）、白尾光廣さん（今福・松崎）、迎正雄さん（今福・北東2）、下川鉄夫さん（志佐・鹿ノ爪）、網本利光さん（御厨・札場）6人に市政功労表彰が授与されました。



6 月は『食育月間』 毎月 19 日は『食育の日』

【問合せ先】健康ほけん課 健康推進係(☎内線166)

「食育」とは、健康的な生活を送るために、さまざまな経験を通して、食に関する知識や食を選ぶ力を身につけることです。市では各家庭を中心に学校や保育所、地域と連携しながら食を通して生活習慣病予防、地産地消、地域の伝統料理や食文化の継承を推進していきます。

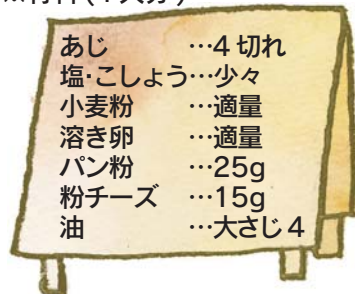
～こんなことも食育につながります～

- 栄養バランスのとれた食事を心がけ、1日3食食べる習慣を身につける
- 地元産の食材を意識して取り入れる
- 食べ物の旬を知る

食に興味や関心を持つ機会を増やし、まずは一人ひとりが、できることから取り組んでみましょう！



※材料(4人分)



食育レシピ～地元でとれる魚を食べよう～ あじのパン粉焼き

《作り方》

- ①切り身にしたあじに塩・こしょうを振り、小麦粉→溶き卵→粉チーズを混ぜたパン粉の順につける。
- ②フライパンに油を熱し、パン粉がきつね色になるまで両面を焼く。

《1人分栄養価》

エネルギー : 247kcal、たんぱく質 : 15.5g、脂質 : 15.8g、塩分 : 0.4g

《健康メモ》

青魚に豊富に含まれるDHAやEPAは、コレステロールや中性脂肪を下げる働きがあり、生活習慣病の予防に効果があります。

なぜ19日が「食育の日」なのでしょう？

食育の「食」という言葉が「しょ→初→1」、「く→9」という考え方から19を連想させ、「育」という言葉も、「いく」という読みが19を連想させることから、19日が「食育の日」となりました。

また、食育基本法の成立が、平成17年6月だったことから、6月を「食育月間」としています。

小中学校での『食育の日』の取り組みと給食交流会

市内の学校や保育所などでは、毎月19日の「食育の日」に、郷土料理や地場産物、旬の食材を使用した特色ある献立を提供しています。

この食育の日にあわせて給食交流会がはじまりました。

給食交流会は、市長と子どもたちが、将来の夢やまちの未来について語りあい、子どもたちに市政を身近に感じてもらい、その意見を今後のまちづくりの参考とするためのもので、約2年間かけて、市内16小中学校をまわります。

4月19日は御厨小学校の6年1組20人、5月18日は上志佐小学校の4・5年生16人の子どもたちと、市長と一緒に給食を味わい、会話をしました。(写真は上段が御厨小学校、下段が上志佐小学校)

どんなまちにしたいですか、との問いかけに、遊園地などの楽しい遊び場やもっと買い物できるところが欲しいといった要望や、給食や校外活動の希望など、さまざまな意見がとびだしました。

市長は、子どもたちの将来の夢を聞いて、「みんなが松浦に住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます」と話しました。

